

第 1 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 220-0022
住 所 横浜市西区花咲町 7-150 5F
氏 名 株式会社 トヨタレンタリース横浜
代表取締役 松浦良彦 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 9 条第 1 項 (同条第 4 項において読み替えて準用する場合を含む。) の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社トヨタレンタリース横浜		
主たる事務所又は 事業所の所在地	川崎市 川崎区貝塚1-1-3		
該当する事業者 の要件	☐ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☒ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の種類	大分類	K	不動産業, 物品賃貸業
	中分類	70	物品賃貸業
主たる事業 の内容	自動車のレンタル		
事業者の規模	☐ 原油換算エネルギー使用量		k l
	☒ 自動車の台数		484 台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	
		所在地	
	電話番号		
	FAX番号		
	メールアドレス		

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計 画 期 間	2022 年度 ～ 2024 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策計画

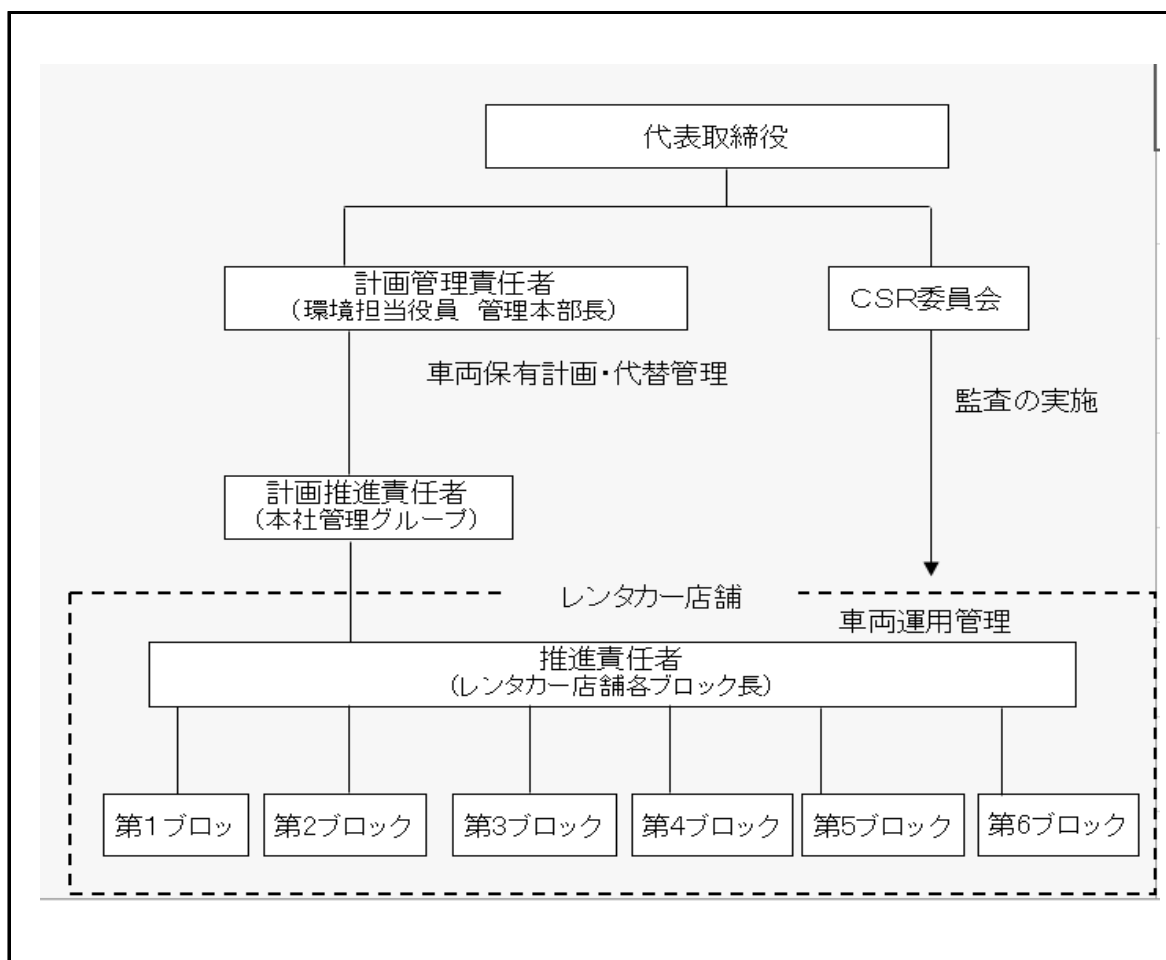
1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

(1) 温室効果ガス排出量削減に向けた方針

◆温室効果ガス排出量の少ない車両の積極的導入
車両導入時に可能な限り低公害車・低燃費車を導入する。
◆効率の良い走行、環境に配慮した自動車の運行（エコドライブ）を推進
走行経路の最適化のための「ナビゲーション」「ETC」装備の搭載、エコドライブにつながる「アイドリングストップ機能」付き車両の導入など。レンタカーユーザーに対してのエコドライブ啓蒙。

(2) 削減対策実施状況の適切な進行管理（P D C Aサイクル）を行うための方針

2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量等

ア 基準排出量と目標排出量（（実）は実排出量を、（調）は調整後排出量を示す。以下同じ。）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
基 準 年 度		2021	年度
目 標 年 度		2024	年度
基 準 排 出 量	(実) (調)	t-CO ₂	(実) 852 (調) 852 t-CO ₂
目 標 排 出 量	(実) (調)	t-CO ₂	(実) 950 (調) 950 t-CO ₂
削 減 量	(実)	t-CO ₂	(実) -98 t-CO ₂
内 訳	対策実施による削減量	(実) t-CO ₂	(実) t-CO ₂
	上記以外の削減量	(実) t-CO ₂	(実) -98 t-CO ₂
削 減 率	(実)	%	(実) -11.5 %

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等（任意記載）

		1、2、4号該当者等	3号該当者等
原 単 位 等 の 活 動 量			総走行距離
原 単 位 の 単 位			t-CO ₂ /1000KM
基 準 年 度 の 値			0.1408
目 標 年 度 の 値			0.1360
削 減 率		%	3.4 %

ウ 目標設定に関する説明

車の保有から利活用への変化や社会的インフラとしての役割の増加からのレンタカー需要にお応えすべく、レンタカーの保有増加が経営目標として掲げられている。保有台数増加とレンタカーご利用ユーザーの増加から今後3年間も排出量は増加していくことは避けられない状況となっている。レンタカー保有車両における低燃費車の保有をあげていくこと、特に乗用車におけるハイブリッド車両の比率をあげていくことで、原単位を削減する目標を掲げた。（基準年度：乗用車におけるハイブリッド比率30.3%）
--

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標（全社目標）（任意記載）

--

4 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 措置の内容

ア 計画期間に実施する措置の内容（別表第 1 から 6 等を参考に記載してください。）

計 画	○推進体制の整備 事業活動温暖化対策責任者・推進者を任命し、温暖効果ガス削減に向けた情報の共有化を図る ○低公害車・低燃費車の導入 自動車の購入にあたり、ハイブリッド車等低公害車・低燃費車を積極的に導入し、乗用車におけるハイブリッド車比率を 40% を目標とする。 ○自動車の適正走行 走行効率を向上させるナビ・ETC等の装備を積極的に搭載する。 ○エコドライブの促進 従業員のみならず、レンタカーをご利用されるお客様にもエコドライブを呼びかける。	
第 1 年度		
第 2 年度		
第 3 年度		
計画期間における取組の評価 (第 3 年度の報告時に記載)		

イ 実施済みの主な温室効果ガスの排出の量の削減対策内容

■低公害車の導入 ■エコドライブの推進

(2) 再生可能エネルギー源等の利用等

ア 基準年度までに実施した再生可能エネルギー源等の利用に係る検討状況

(検討済みの場合は「○」、未検討の場合は「×」を記載し、検討済みの場合は検討結果を記載してください。)

再生可能エネルギー源等の種類	検討の有無	検 討 結 果
太 陽 光	×	
風 力	×	
バ イ オ マ ス	×	
未 利 用 エ ネ ル ギ ー	×	
その他 ()		
その他 ()		

イ 再生可能エネルギー源等を利用した設備の導入状況・計画及び再生可能エネルギー源等の価値の保有状況・計画

種類	概要(規模、場所など)	導入(保有)年度

(3) 基準年度までに実施したエネルギーの効率的な利用を図るための設備等の導入・検討状況

(導入済みの場合は「○」、導入検討中の場合は「△」、導入予定なしの場合は「×」を記載してください。)

設備等の種類	導入等の状況	設備等の種類	導入等の状況
電気自動車等への充電設備	△	エネルギー管理システム (FEMS、BEMS等)	×
電気自動車等から建物等への給電設備	×	その他 ()	×
EV、PHV、FCV	△	その他 ()	×

5 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

計 画	無し
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

6 その他、地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

計 画	◆神奈川県内の森林を守もり緑化を推進する、緑の募金に参加 ◆レンタカーご利用ユーザーに対してのエコドライブ啓蒙
第 1 年度	
第 2 年度	
第 3 年度	

8 基準年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（3号該当者等）

（1）自動車に係る温室効果ガスの排出量等

ア 温室効果ガスの排出量

(実)	852	t-CO ₂
(調)	-	

イ 車両の台数（基準年度末日時点）

484	台
-----	---

（2）車両の種別

ア 車両の種別

種 別	台 数
普 通 貨 物 自 動 車	2 台
小 型 貨 物 自 動 車	133 台
大 型 バ ス	台
マ イ ク ロ バ ス	7 台
乗 用 自 動 車	342 台
特 種 自 動 車	台

イ 燃料の種別

種 別		台 数	比 率
次世代自動車	電気自動車	台	- %
	プラグインハイブリッド自動車	台	- %
	ハイブリッド自動車	97 台	20.0 %
	燃料電池自動車	台	- %
	天然ガス自動車	台	- %
	その他	台	- %
低燃費車	ガソリン自動車（上記を除く）	269 台	55.6 %
	ディーゼル自動車（上記を除く）	7 台	1.4 %
	LPGガス車	台	- %
	その他（上記を除く）	台	- %
上記以外		111 台	22.9 %

※低燃費車とは、「エネルギーの使用の合理化等に関する法律」に基づき定められた燃費基準（トップランナー基準）を早期達成している自動車をいう。